



不思議から始まる学び

理科専科

本格的な雪国の冬を前に、雨が降ったり雪が舞ったりと、日々移り変わる空の下で、子どもたちは二学期の締めくくりを迎えようとしています。

さて、今年届いた明るいニュースの一つに、日本人のお二人がノーベル賞を受賞されたことが挙げられます。過剰な免疫反応を抑える「制御性T細胞」を発見し、病気の治療に新たな道を開いた大阪大学の坂口志文先生が生理学・医学賞を、そして、分子を取り込むための無数の小さな穴を持つ、これまでにない「多孔性材料(PCP)」を開発された京都大学の北川進先生が化学賞を受賞されました。

ノーベル賞には六つの賞がありますが、自然科学分野としては、物理学賞、化学賞、生理学・医学賞の三賞があります。これまで、27人の日本人(受賞時外国籍も含む)が受賞しておりますが、2000年以降は22人が受賞しており、この二十五年間では日本がアメリカに次いで第二位の受賞者出身国となっています。

世界に認められるような素晴らしい研究が日本から生まれ続けていることは、子どもたちにとって、将来こんな研究をしてみたいと夢をもつことにもつながります。理科の楽しさに目を向け、自らの将来にも思いをはせることのできる、素晴らしいニュースでした。

お二人が若い世代へ向けたメッセージには、共通する想いがありました。それは、「自分の『好き』を大切にすること」、そして「失敗を恐れずに問い続けること」です。坂口先生は「不思議に思う心を大切に」とも仰っています。

偉大な発見も、実は私たち誰もがもっている小さな好奇心や、諦めない探究心から始まっているのだと、改めて教えられた気がします。

本校の理科室でも、日々、子どもたちは真剣に事象に向かい、新たな発見に目を輝かせています。六年生の「水溶液の性質とはたらき」の学習では、鉄に薄い塩酸を注ぐと激しく泡や熱を出して溶けていく様子を、子どもたちは食い入るように見つめていました。水溶液のはたらきを突き止めていく真剣な姿から、子どもたちの探究心と、粘り強く考える力を感じました。

また、五年生の「物のとけ方」の授業では、子どもたちの予想がよい意味で裏切られる、印象的な場面がありました。「水の温度を上げれば、物はたくさん溶けるはず」と信じて臨んだ実験で、食塩は温度を上げて溶ける量がほとんど変わらなかったのです。「えっ、どうして。」「もっと溶けると思ったのに。」と、理科室は驚きの声に包まれました。一方で、ミョウバンは温度を上げると驚くほどたくさん溶けていきます。予想通りにいかないからこそ面白い、そんな「自然界の不思議」に深く心が動かされた瞬間でした。失敗を恐れず、納得いくまで調べようとするこうした姿は、理科の学習において最も大切にしたい「問い続ける力」そのものです。子どもたちの中に芽生えたこの探究の心を、これからも大切に守り、育てていきたいと考えています。

明日からはいよいよ冬休みに入ります。普段はなかなか時間の取れない長期休業だからこそ、ご家庭や身の回りにある「不思議」に目を向け、じっくりと調べてみるのも素晴らしい経験になることでしょう。

寒さ厳しき折、ご家族皆様で安全と健康にはくれぐれもご留意いただき、残り多き温かな冬休みをお過ごしください。

令和7年(2025年)12月25日(木)

札幌市立幌西小学校 TEL 561-2201

FAX 551-6213

E-Mail:kosai-e@sapporo-c.ed.jp

<https://www.kosai-e.sapporo-c.ed.jp>



日	曜	1月の行事予定
1	木	元日 年始休業
2	金	年始休業
3	土	年始休業
4	日	年始休業
5	月	冬季休校日
6	火	冬季休校日
7	水	冬季休業日
8	木	冬季休業
9	金	冬季休業
10	土	冬季休業
11	日	冬季休業
12	月	成人の日
13	火	冬季休業
14	水	冬季休業
15	木	3学期始業式 短縮4時間・給食あり 下校時刻13:00頃
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	避難訓練⑤冬季火災
22	木	
23	金	短縮4時間 給食あり(教職員スキー研修のため) 下校時刻13:00頃
24	土	
25	日	
26	月	児童委員会⑪(5年生) 5年「お茶出前授業①」2・3・5校時 家庭科室
27	火	図:朝の読み聞かせ(3・5年) 5年「お茶出前授業②」2・3校時 家庭科室
28	水	避難訓練⑤予備日 P:PTA 運営委員会②
29	木	
30	金	ネットモラルの日
31	土	

○1月23日(金)は、教職員のスキー研修のため、短縮4時間授業となります。給食を食べた後、13:00に下校となります。ご承知おきください。

○図書貸出につきましては、図書管理システムの準備が整いましたら、開館日をお知らせいたします。

冬季休業中のご用の方は

□冬休み中に緊急の用事や連絡がある場合は、学校へご連絡ください。

(8:10~16:40) (時間外は転送電話になります)

札幌市立幌西小学校(TEL 561-2201)

□冬休み中、ご家庭でのお子さんの様子の見守りをお願いします。

□転校される場合は、お早めにお知らせください。休み中でも必要な書類を作成します。

□来校の際には、東玄関インターホンでお呼び出してください。

※12月27日(土)~1月4日(日)までは
年末年始休業日、1月5日(月)~7日
(水)は冬季休校日となっております。

冬休み中の過ごし方について

冬休み中、子どもたちと「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりのきっかけとして、4月に配付しました「さっぽろっ子『学び』のススメ」をぜひご活用ください。また、先日配付しました雪かきチョボラ・雪遊びチャレンジにも可能な範囲で取り組んでみてください。

交通安全・交通事故の防止として、道路を横断するときは左右の確認(止まる、見る、聞く、待つ)をすることや、自動車等が停止するのを確認してから渡ることなど、安全についてご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

スキー置き場について

1年生…東玄関

2年生…給食室前

3年生…西玄関

4年生…2階西水飲み場(2の1教室近く)

5年生…体育館ステージ

6年生…2階東水飲み場(6の4・6の5教室近く)

よつば学級…給食室前

*スキー靴は、各教室前に置きます。

*スキー用具は、学年便りでお伝えする日までに学校に持たせてください。学習期間中は、学校での保管となります。

スキー学習について

3学期の体育で、スキー学習を行います。1・2年生はグラウンドのスキー山、3年生以上はグラウンドと札幌藻岩山スキー場で実施します。今年度はスキー場(バス内)でお弁当を食べますので用意をお願いします。

【お願い】

冬休み中、次のことをご家庭でご確認ください。

□スキー用具の記名・点検

安全上、ビンディングの調整は学校で行うことはできません。外れやすい場合は一度持ち帰って家で調整していただくことがあります。ご了承ください。

□スキー靴やスキーウェアなどのサイズの確認

□1・2年生はスキー、スキー靴の出し入れや着脱が一人でできること。

□3年生以上は、スキーケースやブーツを袋に入れて持って歩くことや、リフトの乗り降りができること。

【感染症対策に関わって】

・風邪症状がある場合には、参加できません。

スキー場で体調が悪くなった場合等、スキー場へのお迎えが必要になることもあります。

【スキー学習代金について】

・3~6年生は、藻岩山スキー場でのスキー学習で、バス代とゲレンデ利用料(900円)がかかります。バス代は参加人数によって決定します。金額が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

・お子さんが藻岩山スキー場のシーズン券をお持ちの場合は、前日までに担任へご連絡ください。

【グラウンドのスキー山について】

冬休み中にグラウンドにスキー山を造成する予定です。

冬休み中はグラウンドへの立ち入りはご遠慮ください。また、学校のスキー学習で使用しますので、放課後や休日等にグラウンドを使用しないでください。

藻岩山スキー学習予定

6年生…令和8年2月 3日(火)

5年生…令和8年2月 5日(木)

4年生…令和8年2月 6日(金)

3年生…令和8年2月12日(木)

土、日は、学校が閉まっており、スキー用具の持ち帰りができません。

平日に持ち帰るようお願いします。

登下校時の保護者による送迎について

お子さんを送迎する際は、学校近隣の方々へのご迷惑にならないようお願いします。

※自家用車の駐停車について、近隣の方々からお困りの声が寄せられています。